

職業教育技術顕彰を受領しました

愛知県には、職業資格の取得を通し、技術・技能の習熟、目的意識をもって充実した学校生活を送り、将来にわたり豊かな職業生活を営むことを目的とした技術顕彰制度があります。

本校からも日頃の学びの成果が実り、高度な資格を複数取得した商業科3年生の生徒に対し、愛知県知事より愛知県職業教育技術顕彰が授与されました。顕彰が授与されたことに自信を持ち、これからも学びに真摯に取り組んでもらいたいものです。



(商業科主任 伊吹 酬平)

愛知県職業教育技術顕彰受領者一覧

岡 大翔	浦山 加奈	山田紗矢音	川村はるの
國貞 勇人	貝沼 瞳	山田 留衣	坂田 真由
河野 愛樹	栗本 心菜	後藤 魁杜	櫻井 萌江
里崎 侑希	小島早代伽	佐藤 成冴	篠原はるか
富永 峻太	島田 愛加	鈴木 健悟	柴崎 里佳
中島 友寛	清水 はる	塚本 篤人	下尾菜々花
中野慎之介	菅原愛弥奈	中島 祐助	高須 愛三
花山 武明	杉山 心菜	長谷川海斗	寺崎 真心
早川 昂輝	鈴木 真凜	水谷 光希	長浦 明音
鷺野 昌人	竹下 美央	水谷 宗士	林 優菜
池戸 友菜	中國 依舞	青木 香織	彦坂 奈央
石原 菜緒	長峰 梨子	伊藤 歩香	二村 柚菜
伊藤 光里	野口 桃那	内堀 紗希	古橋 莉緒
犬飼百合子	濱田 侑咲	尾関比南野	松野 紀帆
内田絵梨香	藤井 美有	加藤明日香	宮崎 那奈
内山 美羽	前田 愛理	加藤さつき	武藤 優香
浦崎 亜妃	松本 琉花	神谷 桃花	以上 67 名

同朋和敬

Doho High School Community Press

コロナ禍でも輝く
同朋生・卒業生特集



※撮影の為、マスクを外している写真もあります。

2021年度 秋の「助成金拡充請願」活動について

今年度も、『オータムフェスティバル(県民文化大祭典)』を県下38会場で開催しております。各会場で県議員の方にご登壇いただき、愛知県や市町村の「助成金拡充請願」についてもご理解をいただいております。本校では、担当会場となっている12会場を中心に、生徒、保護者、卒業生とその保護者、本校教職員、また他私学関係者や市民とともに、準備・運営を進めております。

長年の運動の成果として、昨年度は国の就学支援金の制度が大幅に見直され、県の助成金制度が大きく前進いたしました。今年の運動は、コロナ禍による財政不振にあっても、現制度の素晴らしい部分を守り、更なる助成金制度の拡充を目指すものとなっています。また、新型コロナウイルス感染症によって子ども達が奪われてしまったさまざまな活動の場を新たに創り、つながりの中で成長を実感できる機会にしたいと考えています。

最後になりましたが、オータムフェス運営協力券の普及、これまでの会場へのご参加・運営など、多くの力添えをいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

(同朋学園 助成金推進協議会/教員 武久 英人)



Schedule [行事予定]

11月	10日	水	生徒会立会演説会
	12日	金	数学検定②
	13日	土	第2回学校説明会、音楽科体験入学
	14日	日	全商電卓検定
	17日	水	1年生音楽科公開実技試験
	18日	木	2年生音楽科公開実技試験
	19日	金	3年生音楽科公開実技試験
	25日	木	午前授業
	26日	金	報恩講
	28日	日	全商ビジネス文書検定

12月	11月26日～12月2日 金～木	期末考査
	3日 金	家庭学習日
	4日 土	PTA常任委員会
	6・7日 月・火	答案返却特別時間割
	7～10日 火～金	3年音楽科修学旅行
	9・10日 木・金	午前授業
1月	9～14日 木～火	2年普商修学旅行
	13～16日 月～木	午前授業
	17日 金	終業式
	7日 金	始業式

夏 休みが終わり2学期が始まると、暑い日もあるが、日を追うごとに気候は過ごしやすくなる。そんな、いろんなことに取り組むのに最適な2学期が、分散登校で始まった。毎年であれば、いよいよ文化祭を目前にし、学校中が活気づく時期でもある。8月終わってから9月初めの愛知県の感染状況を見ると、やむを得ない判断ではあった。一方で失ったものの大きさも感じている。秋になると果物が豊かになるが、幻となった今年の文化祭のテーマは「Fruit」だった。一般的には「果物・果実」を意味するが、「努力を通じて身を結んだもの・成果」の意味も持つ。「～に満ちた」という意味の接尾語-fulがついたfruitfulは「実りの多い」という形容詞になる。この秋が、一人ひとりの日々の成果が詰まったfruitfulなものとなることを祈る。

同朋高等学校長 滝 敏行

3年生校外研修

3年生は7月9日に犬山市にあります博物館明治村に行きました。

今回の校外学習は、本来予定されていた東本願寺での上山研修が「まん延防止等重点措置」下において行き先・日程等が変更された経緯がございます。さまざまな行事が中止・延期になっていた中、学校とはまた違った空間で過ごすことでリフレッシュし、仲を深めることを目的としておりました。

前日の雨予報であったものの、当日はなんとか曇りの状態で迎えることができました。謎解きを行いながらグループで楽しむところもあれば、文化財をのんびりと見て回る生徒もあり、日頃の種々制限された中での生活とは異なる、思い思いの方法で明治村を満喫していました。昨年からの行事の延期や中止が続く中、普段学校で見る様子とは異なる

空間で、普段と異なる生徒の表情を見ることができて良かったです。

残念ながら最後の最後に、駐車場が冠水するほどの豪雨に見舞われたものの、それも思い出の一つとなったかと思えます。また、生徒が楽しそうに過ごす姿を見て、改めて学校生活における行事ならびに、その中で行われる生徒同士のふれあいやコミュニケーションの大切さを強く感じました。

(3学年主任 梶川 千友)



2021年度 地域懇談会報告



2021年度地域懇談会を県下22会場で、6月26日(土)～7月11日(日)までの土日に行いました。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が急速に進む中で、中止を余儀なくされたものの、今年度は感染防止対策を十分にとったうえで、実施することができました。

今年度は、「懇談会をメインとして実施をする」という方針を受けて、シンプルな懇談会を開催する地区が多くあった一方で、卒業生や専門家などさまざまなゲスト参加を企画した地区も多く、改めて地域に集い、学び合うことの意義を確認することができました。参加者は190名の保護者の方々と教職員、ゲスト合わせてのべ265名の参加がありました。

秋の「同朋オープンフォーラム」との関連で「最幸の人生の見つけ方」というテーマ設定を行った地区では、子どもをめぐる進路選択について、大人としてどのような関わり方が必要なのか、考えを深める機会とすることができました。

※23、三重地区のみは、まん延防止等重点措置の期間であったことにより、実施を見合わせました。
※今年度の同朋オープンフォーラムは中止とし、来年度のフォーラム企画として実施をいたします。

保護者代表 PTA地域懇談会委員長 後藤 恵美
教員担当者 教員 柘植 さとみ 小堀 能任

地域懇談会で出された感想(一部抜粋)

- 小中学校と違い、私自身知り合いがいらない中、先生方や保護者の方の話を聞くことができて安心しました。(尾張西部)
- 初めての高校生なので、先輩のお母さん方からいろいろな話が聞けてとても楽しかったです。(津島・愛西)
- 卒業生の子ども側の気持ちと親への期待などがわかって有意義でした。先生も親御さんたちも心優しいなと思いました。(稲沢・清須)
- 自己紹介時に話した困っていることを議題にして細かく説明してくださったり、他の保護者の方の意見も聞けて良かったです。(海部東部)
- 先生や先輩のお母さまの話がうかがえてとても良かったです。学校の様子や方針など安心できました。講演もとても楽しかったです。(名古屋南東部)
- おこづかいやスマホについて特に盛り上がった。また、「最幸の進路」について、やりたい仕事に就いても辞めた例や進路を変更した話などを交流できた。(尾張東部)
- 卒業生の方が来てくださって、本当の本音を聞いたのがとても良かった。大学や専門学校の現実もわかって良かった。(中川A)
- 同じ不安を持っていたり、学年を越えた話を聞けて良かった。卒業生の生の声、リアルな声を聞けてよかった。(西B)

第23回 アンサンブル演奏会

去る7月21日(水)、『音楽科第23回アンサンブル演奏会』が開催されました。ここ最近はお隣の名古屋音大「めいおんホール」で行ってきた同演奏会ですが、今年は世情を鑑み舞台も客席も大きい、金山の「日本特殊陶業市民会館ビレッジホール」にての開催となりました。

この演奏会は、2・3年生の「演奏研究」の授業発表という位置づけで、ピアノ・声楽・ミュージカル・弦楽・管楽・打楽・電子オルガンの重奏や重唱を披露するものですが、数年前までは試験の成績やオーディションによって選ばれたメンバーが出演していました。現在の形になってからは1年生を除く音楽科生徒全員が、ソロ演奏とは違ったアンサンブルのステージを踏みます。また、表舞台には立たない1年生も、受付や客席誘導、アナウンス、舞

台転換など、裏方スタッフとして演奏会をサポートすることを学ぶ貴重な場となっています。

当日は午前中から会場準備やリハーサルを行いました。ご来場のお客さまには入り口での体温チェックをした上で入場、一席ずつ空けた座席に座るなどご協力いただき、滞りなく終演することができました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、次の『合唱・オーケストラ演奏会』は予定されていた10月7日から12月17日に延期となりました。アンサンブル演奏会同様、関係各所の皆様のお力添えをいただきながら、生徒たちが無事に演奏会に臨めるよう願っています。

(音楽科主任 鍋木 勇樹)



7月5日(月)芸術鑑賞

今年度は、「EBIKEN・kajii・ファンタスティック東京」(パフォーマンス)を鑑賞しました。EBIKENさんの映像と一体化したスケールの大きいダンスパフォーマンスでした。kajiiさんは、キッチン用品を使って奏でる音楽、ファンタスティック東京さんは、リボンや跳び箱を用いた

壮大なパフォーマンスでした。本校にとっては、2年ぶりの芸術鑑賞となりましたが、コロナ禍における新たな実施形態として、2ステージでの講演を引き受けたださったことに深く感謝申し上げたいと思います。

(生徒会部長 日比 伸子)





医療現場で働く

卒業生



池ノ谷 瑠菜

(2017年度同朋高校卒
名古屋市立港南中学校出身)

大同病院勤務

私の務めている病院は、コロナ患者の受け入れをしています。

第5波の影響で、コロナ患者の受け入れをしていない病院から集中して運ばれてきています。病床も不足しているので、普通の病棟を閉鎖してコロナ病棟を増やしました。

コロナ病棟で入院できなかった他疾患の患者さんがわたしたちの病棟に来るので、常に病床はパンパンです。コロナ病棟へ応援に行く人、辞める人が増えたので、人手が不足している分一人ひとりの仕事量や負担が増えつつある状況です…

正直厳しいと思うことは沢山あります…

それでも看護師として、1番患者さんの傍にいられることができ

る立場として、患者さんが安心して、安全にその日を過ごせるように全力で看護を提供しています。

毎日バタバタで大変だけど、いいこともあります。

例えばそのおかげで少し痩せたとか(笑)

働き始めて5カ月、入職したころに比べて自分一人でもできることも増えました。

勉強ばかりで逃げ出したくなる時もあるけれど、自分で得た知識は自分や患者さんを守ってくれます。

忙しくて失敗することもあるけれど、それも全て経験として受け入れて前向きに考えるようにしています。どんな状況でも看護師としてできることが増えることは、とても嬉しくてやりがいを感じます。

また、笑顔で元気になって退院していく患者さんをみると心がポカポカ暖かくなり、幸せを感じます。

みんなそれぞれ大変だと思いますが、無理をしすぎず、ほどよく頑張って、身体と心を大切にしながら自分のペースで進んでいきましょう。

わたしは、これからも誰かのために貢献できるように自分のペースで頑張っていきます。



大塚 菜々瀬

(2016年度同朋高校卒
清須市立清洲中学校出身)

愛知医科大学病院勤務

私は、5年前の2016年に同朋高校を卒業しました。高校在学時は、女子サッカー部に所属し毎日部活に明け暮れていました。現在は長久手市にある愛知医科大学病院の中央手術室で、看護師として働いています。

私が入職した2020年度から、新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まりました。外出自粛やマスク着用など、私たちの日常は大きく変わったと思います。それと同時に、医療現場でもさまざまなことが変わっていきました。コロナ専用病棟の設立や、面会の

禁止、医療者はN95マスクとアイシールド着用の徹底など、感染しない・感染させないために、それまで以上に緊張感を持って働くようになりました。私生活においても多くの制限があります。

しかし、コロナが与える影響は悪いことばかりではないと感じています。手洗いうがいやアルコール消毒をはじめとした衛生習慣が見直され、一人ひとりの感染対策への意識が高まりました。今やマスクをせずに外出する方もほぼみかけませんし、商業施設などでも消毒設備がないところはほとんどありません。これらはコロナが与えたポジティブな変化だと思っています。

私は現在、手術看護認定看護師の資格を取るため、学会や研修に積極的に参加しています。コロナ禍で中止となった研修も多いですが、その分、自己学習の時間が増えました。皆さんも大変な状況ですが、自分の目標に向かって、今できることをしてってください。



若松 亜由美

(2015年度同朋高校卒
名古屋市立一柳中学校出身)

藤田医科大学病院勤務

私は、小児科病棟で看護師として働いています。

私が働き始めた年から、新型コロナウイルス感染症が流行し病院全体で病床を確保するため緊急性のない検査や手術は日程を遅らせたり、散らばらせたりするなどしています。

子どもでも、コロナの疑いで入院されてくる方もいます。そのような患児と触れ合う際には、自分自身の安全確保・自分が他の人へと感染の媒介者にならぬようしっかりと感染対策を実施しています。

病棟では看護師・患者さんともにマスクの着用が必須になりました。目元しか相手には見えないため、会話する際は優しい口調でコミュニケーションが図れるよう注意しています。

また、家族との面会の制限も今は設けられています。私の働いている小児科病棟では、保護者一人が基本付き添っていますが、今はラウンジや部屋で家族みんなで集まることができません。そのため、入院している子どもたちは、家族との時間を過ごすことができないため寂しい思いをしています。また付き添っている保護者も慣れない環境の中、患児とともに過ごしています。私はそんな患児や保護者に対し、積極的にコミュニケーションを図り、時間があれば患児と遊ぶことができるよう心がけています。関わっていく中で、不安や悩みの傾聴ができ少しでも力になれたらと思います。日々働いています。

男子ソフトボール部から2人が、 国体選抜チームに選出!



私は、愛知県代表として国民体育大会予選に参加しました。私は1年生の時から県代表に選ばれることを目標にしていました。そういうわけで、選ばれたことを知った時はとても嬉しかったです。

しかし、実際に選抜チームが始まってみると想像していたこととは少し違うところもありました。一番はコロナの影響です。予選一週間前に集められたチームだったのにも関わらず、練習試合を一度もすることができませんでした。その上、雨が続きグラウンド練習も一日しかできませんでした。

この厳しい状況下でしたが、みんなとなんとかコミュニケーションをとりながら、ベストを尽くそうと頑張ったことは思い出になっています。

結果は、静岡県代表に敗れ、本戦出場はなりませんでしたが、高いレベルの中で、愛知県代表として戦えたことは、私にとってとても良い経験になりました。

富田 創一郎(307) (名古屋市立豊国中学校出身)

僕は、初めて出させてもらった国体予選で二つのことを学びました。

一つ目は、愛知県選抜に選ばれた時のことです。自分は、正規の選手ではなく、補欠選手として選ばれました。「レギュラーじゃないと面白くないし、行く意味がないんじゃないか」とも思いました。しかし、補欠としてチーム内で最善を尽くしたことで、試合の運営に関して貢献できたことや、結果的に試合に出ることもできたので、良い経験を積むことができました。

二つ目は、いつも一緒に戦ってきた仲間達が、とても安心できるんだということです。今回の大会は、愛知県代表として選抜チームを組んで戦うことになりました。即席チームということで、仲間との連携プレーやすれ違いがあり、不安を感じました。それと同時に、今まで戦ってきた同朋高校男子ソフト部の仲間達の安心感や、絆を再確認することができました。

上田 海杜(304) (稲沢市立千代田中学校出身)

Club&Award News

生徒の活躍 (5月26日～9月28日まで)

◆音楽科

第75回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会本選出場

声楽部門 後藤 優子 (312)
フルート部門 尻井 こころ (312)

第23回日本演奏家コンクール

声楽 高校生の部
後藤 慎之助 (312)、後藤 優子 (312)
名古屋第1次予選・第2次予選通過、
本選 (10/4神奈川県) → 出場

第1回国際声楽コンクール東京

声楽専攻高校1/2年生部門 下田 朝日 (114)
重唱部門 後藤 優子 (312)
地区大会、西日本准本選通過、
本選 (10/5・11/2東京都) → 出場

■柔道部

第75回愛知県高等学校総合体育大会

団体女子 第2位 → 東海大会出場
男子66kg級 第3位 横尾 龍也 (305)
男子100kg級 第3位 小池 倅ノ介 (212)

令和3年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 愛知県予選

女子48kg級 第2位 山本 香来 (302)
女子52kg級 第3位 菊池 律杏 (201)
女子57kg級 第3位 小島 早代伽 (310)
女子63kg級 第3位 井上 心月 (303)
女子78kg級 第3位 岡田 彩花 (113)、
廣瀬 巴瑠妃 (213)

2021年度 国体柔道競技 少年男子の部 最終選考会

男子100kg級 第3位 小池 倅ノ介 (212)

■陸上競技部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会

陸上競技大会名古屋南北予選会

女子棒高跳 第2位 都築 凜 (211) → 県大会出場
女子ハンマー投 第5位 小林 香凜 (113)

■男子ソフトボール部

第76回三重とこわか国体

愛知県少年男子チームに選出 富田 創一郎 (307)、上田 海杜 (304)

第45回愛知県高等学校男子ソフトボール選手権大会 (兼第65回中日本総合選手権大会高校男子の部愛知県予選)

第3位

愛知県代表 → 中日本総合男子ソフトボール選手権大会へ出場

■ラグビー部

令和3年度第8回

全国高校7人制ラグビーフットボール大会
名南知多支部予選会 優勝 → 県大会出場 ベスト8

令和3年度 第58回

愛知県私学祭体育大会ラグビーフットボール大会
優勝

■女子蹴球部

第75回愛知県高等学校総合体育大会

県大会 準優勝

■乗馬部

Jumping Horse Show T in Aichi

障害60 優勝 西 悠太 (306)

第55回全日本高等学校馬術競技大会

東海地区予選 団体 準優勝 → インターハイ出場

■書道部

全国書道展覧会主催 第43回ふれあい書道展

特選

津田 明佳 (308)、島田 愛加 (310)、吉田 百恵 (201)、
小野坂 加奈 (206)

奨励賞

天野 里美 (309)、西尾 芙蓉荷 (304)、堀田 桃花 (302)、
濱島 七海 (208)、酒井 胡桃 (202)、加藤 悠太郎 (111)、
岩城 南々帆 (104)、竹内 陽菜代 (112)、堀田 千裕 (104)